

## ナルク ベトナム・カンボジア海外研修旅行の体験記



(カンボジアの遺跡にて)

わかばの会より私達3人が参加しました。ベトナムのハノイ観光では伝統芸能の水上人形劇を鑑賞、海の桂林と呼ばれる奇岩が織りなすハロン湾クルーズ、建国の父が眠るホーチミン廟、ベトナムの歴史を感じるホアンキエム湖と旧市街36通り、ノスタルジックな建築物が並ぶフレンチハノイの風情などです。またサイゴン陥落時200万人が世界各地に避難したベトナム戦争の痕跡を体現するメコンデルタが広がるベトナム経済の中心、ホーチミン市内観光もしました。

カンボジアでは密林に潜む壮大な歴史遺産のアンコール遺跡群、なかでも“寺院都市”を意味するアンコールワットは芸術的にも最高の遺跡で、広大な敷地に囲まれた現世と天界を結ぶ虹により人間と女神が会う場所だそうです。アンコールトムはクメール時代の都城で、中央にあるバイヨン寺院の巨大な観世音菩薩は圧巻でした。その微笑みには心が癒されます。地ビールを飲みながらの美味しい料理は日本人好みであり、最高の旅でした。今年2月21日～27日の一週間でした。

(拠点HPにも掲載する予定です) (吉本金雄・長澤継人・青木昭夫)

### 学童見守り隊への参加 子どもたちの元気をもらい清々しい気分

孫が通学している池田市石橋南小学校の登校時見守りも、今年3月で1年になります。一昨年秋、PTAの校外活動として登校時、見守りに参加していたときにボランティアで見守りをしている方からお手伝いをとの打診がありました。当時孫の送迎をしていましたので、小学校に入学したらお手伝いをさせて頂きますと返事しました。その方は昨夏急逝されましたが約束どおりその後も続けています。

ナルクわかばの会員の立場として考えても、送迎の1年を振り返りますと、元気な声で「おはようございます」とあいさつが返って来たとき、私も元気をもらい清々しい気分になります。

ときには小さな声の子や、あいさつのできない子もいます。子どもの事故は下校時の方が多いようですが、下校時間がまちまちなので、見守り隊としては現在のところ朝の登校時のみです。

3月18日には卒業式にも参加しました。東日本大震災の犠牲者に黙祷し、国歌斉唱、そして卒業生一人一人が将来の目標や夢を発表するのを聞きました。何十年ぶりの経験ですが本当に感動しました。子供は未来の国の宝だとつくづく思っています。(三浦恒則)

### 福祉施設のボランティア——私の居場所にもなっています

福祉施設のボランティアをして2年半。活動中味は傾聴や囲碁・将棋、歌の支援や体操、アクティビティやイベント手伝い・剪定などです。毎月7～8回活動していますが、利用者の方や施設の職員と顔見知りになり、私の居場所となっています。ナルク福祉調査センターの外部評価員等を行う上で、現場を知ることができ大変勉強になりました。老いても人を求め、見つめてほしい、大事にしてほしい、認めてほしい、そういう気持ちは皆いっしょだと解り、活動でも工夫することを覚えました。単にボランティアをしてあげるというだけでなく、施設との協働や利用者の思いも大切に今後も続けたいと思います。(青木昭夫)